

## フレーベル賞

# 童謡の作曲と

## 私の追憶

宅 孝 二

今度フレーベル賞の爲に  
應募した童謡の作曲を主  
として、兒童遊戯の作曲を、  
子供好きの自分にさして頂  
いたので、實に愉快に仕事  
をした。戸倉先生の振付け  
に随つて一曲づゝ出来上つ  
て行くに、最早や面白くて

ならなくなり、次の曲を作り始めるに  
云ふ風で、前の曲が充分出来上りもし  
ないのに次の曲にかゝるに云ふ位で  
あつた。それで戸倉先生を大分お困ら  
せした様子であつた。戸倉先生の飽く  
まで丹誠を凝らし、一ヶ所でも氣に入  
らないに御飯も充分咽喉に通らないの  
ではないかと思配する位熱情に、  
幾度か恥しい思ひをしたのだが、それ  
でも如何に面白く仕事をしたか、これ  
で説明される。先生から『もつ子供  
の氣持に歸つて』と度々御注意を受け  
る度に、嘘の技術にあくせくしてゐる  
大人の憐れさを恥しく思つた。いらい  
らしたり、むしやくしやしたり、ブン  
ブンしてゐる時などは、同じフィギュ  
アの音符を置いても優しい感じが出  
ないし、捻くり廻して考へて、一晚か  
つても、最も單純で、美しさの滴た  
る様な一小節のメロディーも出来な  
い。結局、子供の遊戯を見乍ら、遊戯  
の感じを即興で作つたのが一番良いに

云ふ事になつた。戸倉先生も即興の時  
のが一番好いて下さつた。此んな仕事  
の正直さには眞實敵かなはないに云ふ氣が  
した。然し私の様なものが純眞になつ  
たさか、優しい氣持になつたと思つた  
瞬間でも、子供にまつて何んなに不自  
然でつまらなく、見苦しくもあるだら  
うかと思へるに、子供の遊戯を作曲す  
るなどは、全く鏡を研ぐ様なものだ  
に、此んな有りふれた考へも今更らし  
く感じるのであつた。

私の通つた幼稚園の遊戯室の壁に、  
茶色に褪色して了つた様な、外國人の  
叔父さんの寫眞も肖像さもつかない  
額が掛けられてあつた。ギロリとした  
眼が氣味悪くて、何かこつそり先生の  
眼を盗んで悪い事をした子供を見逃さ  
ぬぞと睨むでゐる様であつた。それで  
一寸嘘をついたりした時は、その後で  
恐はごは見上げるのであつた。此れが、  
大分大きく成つてから、フレーベルに  
云ふ幼稚園の叔父さんだに聞かされた

のを憶えてゐる。小學校の中に幼稚園があつたので、尋常六年生まで度々此の叔父さんに見られたのである。今日になつて、亦フレibel叔父さん何かの關係が出来ると云ふのも不思議な因縁の様な気がする。若し私に子供があつて、幼稚園のお世話にでもなつてゐたら、或は、何時もニコニコしてゐられる倉橋先生の御眼でもフレibel叔父さんの眼に見えるかも知れない。いづれ私の様な者の子供なら、嘘の一つや二つは上手につくかも知れないから。

何日かの集團勤勞日の朝、例に依つて校庭で保健體操(?)が行はれて、一人のリーダーを見習つて、職員、生徒全員が清らかな空氣を切つて腕を振り廻してゐた時の事である。何しろ其の日の體操は私に取つて目新らしいもので、ラヂオ體操よりも複雑で、もつこ美しいフィギュアーから構成されてゐる様に思つた。けれども何うしてもリ

ーダーに従いて行けなくて、左右が、あべこべになる事は勿論の事、飛んでも無い方角へ、ニョッキリ中空に瘦せ腕を突き出す様な始末に、眼を皿の様にしてリーダーのする、次のフィギュアーを待ち構へても追つかない醜態で閉口して了つた事があつた。けれども夏でも冷たい、早朝の肌ざはりの好い空氣を一杯吸ひ込んで「頭を後ろに」で空を見上げる時など、精神的に大概の病氣は全快してゐる氣持が好い。

實際二、三回位そんな事をして、大して健康になつたわけでもなく、青い顔色に、血色が出よう筈も無いのだけれど、全身の血が足の先まで鮮かな色になつて行くのが想像されて、其れと同時に平素の不健康な生活態度が比例され、慄然とした思ひがチラミ腦裡をかすめるのである。何十年ぶりで此んな事をするのであらうかと思へて見るに同時に、一番判然と思ひ出すのは丁度幼稚園の遊戯で、未だ覚えてゐる

二つ三つのもので、お馴染みのメロデーに「結んで開いて、手を打つて結んで」云ふ歌詞をつけて唱ふのであつた。そして最後に「その手を上」に「さか」に「さか」胸に「さか」膝に「さか」唱ふリフレインがあつて、其と同時に手を挙げたり下したり胸へ當てがつたりするのであるが、其の順序がごつちやになつて間違つて了ひ、人より後で手を挙げたり、大體此の方角と思はれる所へ手を差し出してそのうちに先生のを見て手を直す等云ふゲリラ戰術を使つた事が、丁度何十年か後の今と同じ様であるのを思つた。そして追憶が其れから其れへ繰り廣げられるのであつた。

小學校や中學校で覺へた事は、其の年代に比例して見事に忘れても幼稚園での事は、ずつと昔の事にも拘はらず大分憶えてゐる。フレibel氏の大きな眼玉はまだありあり見えるし、小學校の門側にあつた、何百年の年を

取つてゐる。こも知れぬ大きなお化け銀杏の樹幹にあつた穴の恐ろしかつた事や、園長先生の金縁眼鏡の上から覗く目が、我々の第二幼稚園から、市の中央第一幼稚園に轉任されてからの方が、つづみ親しみと懐しさが増した事や、

大柄の脊の高い横田先生と小柄の金子先生の間にぶら下つて、もつみ水平に吊り上げて呉れど駄々を捏ねて金子先生を困らせた事や、お辨當を引くり返へして先生のを分けて頂いた事や、冬には小使さんが皆の辨當を湯で温めて呉れて、其れを待つてゐる間、オルガンに連れて皆机の上に顔を伏せて目を閉ちて寝るふりをするので、待ち切れないで自分の辨當を見たりする子はお行儀が悪い事になつてゐた。私の辨當は家が近いので女中が晝の時間に温いのを持つて来て呉れるのだが、やはり皆と一緒に湯で温めて呉れる様に小使さんを責めてきかなかつた事等思ひ出すのである。

今は大分變つたが、其頃の郷里堺の町は古い陰氣な空氣であつたのに較べて幼稚園の中は實に明るくて和やかであつた。

町全體に空地も無くぎつしり詰つた低い家並、二階家も出来る丈け低めて正面からは目立たない様に出來てゐて燦んだ埃でも浴びて息が詰つた様に黙りこくつてゐる。しかし木口はよく建築の様式も一定してゐて、これは古い頃からの地廻りの大工の手になるものであつた。建て込んだ家々は、昔の時代から町人に當がはれた地割によるのであつた。狭く、狭く追ひ詰められた家畜の様であつたが、そこで野心と氣概に富んだ町人の歴史も作られた。けれども所詮は制壓されたものであつて、町人に課せられた壓制的な連帶で互に牽制し合ひ、町人の自治が表面赦されるさいふ始末であつた。産業の發展が餘り活潑でなかつた長い時代に、外國との貿易が中世都市の生命であ

り、發祥でもあつたここを今更に思はせるのだが、鎖國の時代を通して繁榮を大阪に奪はれ乍らも、國內貿易の一部を占有し續けてゐた町人都市として、一種古めかしい氣風を得て居つた。

それが十年程前から科擧工業や軍需品工業が急速な隆盛を見て、何か活氣のある町となり、先般久しぶりに行つて見るに新市街が廣がつて一種獨特の工場街の響が街中に起り、藥品や煙の嗅ひなごも時々鼻を衝いて來て、動きある近代都市の感じが強くなつて了つてゐた。新市街と舊市街の對照が判然としてゐて、時代の推移、勢力の變轉が餘りにもはつきりしてゐるのに興味と哀愁と發展への驚きとのごつちやになつた氣持で自轉車を驅つて、昔の町角をあちこちを走り廻つて見た。自分達の小學校や幼稚園は昔の儘の建物であり乍ら擴張したり改築してある箇所があつたり、運動場も附近の町家を買ひ

足して一町四方になつて居り、場内の一隅には立派な體操器具が具へられて如何にも一見して教育法が進んだ様な感じを受けた。その反對にあの様に偉大に一疊敷はたつぷりあつたお化け銀杏は技の半分は折れて、貧弱になり、コンクリートの地面の中に淋しく、何の怪奇や傳説の存在も許さない感じであり、丁度堺市全體の變貌の縮圖であるかの様に見えた。

幼稚園の方は小使さんが一人居たきりであつた。あの頃は未だに陰氣な古風な町ばかりで、町の權勢も舊時代の産業に携さはつてゐた者達にあり、私達には我世の春であり、いさもぼんやり暮してゐた。随つて町人の町としての口うるささも、輿論といふものが強く作用して居た。利害に敏い反面はまた、人のそれにも鋭敏であつて、市の行政にも時折驚くべき進歩したものが現れてくる。

そんな事から計りでも無からうが教

育設備も仲々良く、義務教育も整備し、幼稚園も随分古くから市の經營で設立されてゐて、第一幼稚園云ふのは恐らく明治三十年代からそれ以前に想像される。四十年代に這入つては既に第二幼稚園が、家の近くに出來た。即ち私達の通つたものであつた。現在では第三まであるそうである。

お隣りの大阪に刺戟され、競争したからか市の施設は仲々贅澤であつた。其一例として今から二十年も前には既に全市の小學校全部に獨逸製で世界最高ピアノであるスタインウェイ、やベッヒスタインを各々備へた事でも解る。それも皆大きなグラランドであつた。私の小學校もスタインウエツヒのサロン、コンサートの堂々たるものが備はり、市の北端の富有でない地域や他の周圍と對照をなした不思議な光景であつた。その爲第二幼稚園でもピアノが愾しい事になつて、私が大阪まで選定の爲に使ひをした事がある。幼稚園に

スタインウエーのグラランドでも無からうと、密附者となるであらう父兄の身なりやら町の小さい家々が目について、青年らしい同情心も手傳つたりして此れも一流の中ではあるがスタインウエーから大分落ちるザイラーに定めて歸つて來たら方面委員の池上さん園長先生は大分不服であつたらしい。

結局そのザイラーが今でも座つて、フレーベル叔父さんを永年惱ましてゐる。そして今頃はザイラーもザラザラして了つてゐる事だらう。其後幾星霜を経て、最近聞く所に依るに、絶對音感教育を取り入れ、今回、東亞發聲ニュース映畫研究所が其の實際を録音映畫に修めた云ふ事である。

個人は保守的に思はれる此の町の習俗で、自治機關には社會的な責任を負はせてゐることも見られる。けれど兎も角進歩性が充分仄めいてゐるのであつた。

私が幼稚園へ上つたのは明治四十何

年で前述の様に小學校の中にあつた事  
 きて未だ學齡にも達しないのに小學生  
 竝に校門を潛つて通園するのは誇らし  
 い氣分で、得意に感じてゐた。其れを思  
 ふふ自分を誇るに云ふ氣持は子供には  
 相當強いもののやうに思はれる。隨つ  
 て、そんな風であるから羞恥心も充分  
 備はつてゐた。見ねばならず、威張つ  
 たり、羞んだり、子供の日常では出鱈  
 目に多いものである。そして、幸ひに  
 も第二幼稚園は立派な經營であつて、  
 決して貴族的であつたり、甘やかせた  
 りする幼稚園で無かつた事に感謝して  
 居るのである。

祖先の堺町人の勇敢で嚴格なエスプ  
 リの名残りでもあらう。此の市さして  
 嚴格に制度化され、殊に總ての幼児に  
 對する均等な機會は得が度いものであ  
 る。舊式に、いさゝか貴族的な育て方  
 をされてゐた自分の幼時に、幼稚園へ  
 通ふに云ふ事は何んなに樂しかつた  
 か。それ許りでなく自分が偉くなつた

様な自負を持つたのであるから、其頃  
 には一種の社會性に目覺めたさいふ事  
 實があるので、幼児の志向からしても  
 幼稚園の制度化に云ふ事が何んなに良  
 い事か知れないと思ふ。けれど何れに  
 してもこの時期には情操教育を集團的  
 な規律の習慣が最も重要なことである  
 だらうし、凡てこの二つの方向に還元  
 されてもよいと思はれる。慈愛を愉し  
 ませ、規律の機會を自分たちの幼児に持  
 ち得た感謝は、何んなに嬉しいもので  
 あるだらうか。

私の恩人の横田先生は、今では保姆  
 もまつくの昔にやめられて、堺市の幼  
 稚園の顧問の様な事をして居られて悠  
 々自適して居られ、實に御元氣であ  
 る。去年大阪の朝日會館で會を開いた  
 時に樂屋へおいで下さつたが、此方は  
 三尺の童兒から、むくつけき髻面に成  
 り果て、了つてゐて、最早や先生の腕  
 に吊り下る事なき思ひもよらぬ様にな  
 つて了つたのに、横田先生は餘り變つ

て居られないのである。健康さうで血  
 色が好く、ふつくらしたお顔は、倉橋  
 先生の艶の好い元氣な御様子に一脈相  
 通するものがある感じであつた。そし  
 て私が、座にゐた友人や朝日の人達に  
 紹介したら、「嫌や嫌、そんな事云はれ  
 るに歳が解ります。けれどね、本當  
 に大した腕白さんでしたよ。」と私を指  
 して笑はれた頬には、昔懐しい顰が矢  
 張り現れたのであつた。嘗つての私は  
 あの顰が現れたら、何んな惡戯をし  
 ても絶対に叱られない事をよく知つて  
 ゐたものであつた。

フレイベル賞入選の童話・童謡は引  
 きつづき毎號掲載の豫定でございます  
 すが、本號は紙數の都合で割愛の餘  
 儀なきに至りました。御諒承下さい  
 ませ。  
 (編輯係り)